



宮城県女川町の女川漁港付近
2011年5月3日 横山 貴史 撮影

地理空間学会ニューズレター

TOPICS

- ・第4回大会のお知らせ
- ・大会巡検のご案内
- ・第8回～第10回例会の報告
- ・学会賞受賞者コメント（清水克志）
- ・リレーコラム「わがまち速報」（井口 梓）
- ・寄贈図書紹介
- ・学会からのお知らせ
- ・コラム「わたしのフィールドから」（横山貴史）

JAGS

第4回大会のお知らせ（第2報）

地理空間学会では、第4回大会を下記の通り開催いたします。

【日 程】

2011年6月18日(土):評議員会, 研究発表, 招待発表,
会長講演, 総会, 懇親会

6月19日(日):巡検

【会 場】

筑波大学 筑波キャンパス 第一エリア 1D 棟・1E 棟ほか

【交 通】

つくばエクスプレス線「つくば駅」下車、6 番バス乗り場「筑波大学循環」または「筑波大学中央行き」で「第一エリア前」下車。

【費 用】

大会参加費

一般会員・非会員 : 1,000 円

大学院生会員 : 無料

学生会員 : 無料

懇親会費

一般会員 : 5,000 円

大学院生 : 3,000 円

学部生 : 2,000 円

【プログラム】6月18日

11:15～ 受付(1D 棟 2 階入り口)

11:30～12:20 評議員会(1E 棟 201)

12:00～17:30 ポスター掲示(1D 棟 2 階フロア)

秋元菜摘(東京大・院):クラスター型コンパクトシティ化による
生活関連施設へのアクセシビリティの向上—施設立地と人
口分布からみた改善パターンの差異—。

市川康夫(筑波大・院):長野県松川扇状地扇状部における出
作りの展開と特質—明治期以降の動向を中心に—。

大石貴之・津田憲吾・常木正道・神谷隆太・財津寛裕・巖 婷
婷(筑波大・院):商店経営からみた商業機能の変容—須
坂市中心商店街を事例に—。

大谷万里絵(筑波大・院):地球温暖化が野菜生産地の季節
性に与える影響。

栗林 賢・全 志英・磯野 巧(筑波大・院)・呉羽正昭(筑波
大):須崎市アグリ・ツーリズムの特徴。

齊藤謙司(筑波大・院):長野県須崎市における鉱山跡地の保
存活用課題。

鈴木春香(筑波大・院):筑波大学周辺のアパートと地域構造。

大道寺 聡・吉原 遼・福田 綾(筑波大・院):長野県須坂市
における歴史的町並みの形成と展開.

中尾浩子(筑波大・院):都市河川における河川整備と住民参
加型川づくり.

永山いちい(筑波大・院):住宅団地における高齢者の生活空
間一つくば市桜ニュータウンを例に一.

益田理広(筑波大・院):シュルレアリスム文学からみる都市イメ
ージ安部公房『壁』を例として一.

山本敏貴(筑波大・院):鹿児島市中心市街地における時間貸
駐車場の現状と駐車場の土地利用変遷.

12:30~14:10 **口頭発表 第1部**(1D 棟 204)

橋本 操(筑波大・院):北海道平取町におけるヒグマ出没の空
間的特徴

福田 綾(筑波大・院):大分県由布市湯平温泉における観光
産業の地域的展開.

小林岳人(千葉県立松戸国際高):教育困難校の改善の方策
についての地理学的検討.

堤 純(愛媛大):シドニー市における高層建築物の供給過程と
その特徴.

14:10~14:40 **休憩, ポスター発表コアタイム**

14:40~15:30 **口頭発表 第2部**(1D 棟 204)

Tom Waldichuk (Thompson Rivers University, CANADA) :
Reflections on Geography of Japan Field Trip in 2008 and
2010: The Use of Field Journals and the Move to More
Student-Centred Learning.

山本健太(九州国際大):静岡プラモデル製造企業の技術獲
得と取引関係一転換企業および新興企業を事例として
一.

15:30~16:05 **招待発表**

中村周作(宮崎大):熊本一酒と肴の文化地理.

16:10~17:00 **会長講演**

白坂 蕃(帝京大):イタリアのアルプス山麓における羊の移牧
にみる“日常”と“非日常”.

17:10~17:50 **総会・学会賞授賞式**(1D 棟 204)

18:00~19:30 **懇親会**(大学会館レストラン)

第4回大会巡検のご案内

6月19日(日)に大会巡検がございます(雨天決行)。

【巡検テーマ】

「常陸台地における産業と交通」

【オーガナイザー】

遠藤貴美子・栗林 賢・橋本 操・福田 綾(筑波大・院)

【集合場所】

ダイワロイネットホテルつくば前に午前9時集合。

(つくばエクスプレス「つくば駅」A5 出口より徒歩1分)

【解散場所】

つくばエクスプレス「つくば駅」にて17時頃解散。

【参加費】

3,500円程度(昼食費および巡検内の交通費含む)

【内容】

石岡駅(石岡市中心商店街における歴史的建造物の活用),
柏原工業団地(石岡市における工業団地の変遷), 小美玉市
の食品産業, 茨城空港(茨城県における空港の開港とその機
能), 石岡 BRT(鹿島鉄道の変遷とバス専用道路の設置), 釀
造場(石岡市における醸造業の歴史)を予定しております。

【途中帰宅可能な場所】(予定時刻)

茨城空港(15時頃), 高浜駅(16時頃)

詳細は学会ホームページをご覧ください。

※巡検の参加には、事前申し込みが必要です。

巡検参加ご希望の方は、電子メールで地理空間学会大会巡検係・栗林賢(E-mail:kbayashi@geoenv.tsukuba.ac.jp)へ下記

1)・2)の内容を記してお申し込みください。

1) タイトルに「2011 年大会巡検参加申込」と記してください。

2) メール本文に、ご氏名、年齢、ご所属、巡検当日の連絡先(携帯電話番号)を明記して下さい。

※定員になり次第受付を締め切りますので、ご了承下さい。

皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

第 8 回～第 10 回例会の報告

以下の通り、第 8 回から第 10 回の例会が開催され、活発な議論がなされました。

【第 8 回例会】

2011 年 1 月 24 日(月) 筑波大学 筑波キャンパス

・横山 智(名古屋大): 東南アジア大陸部の統計未整備地域におけるフィールドワーク調査。

【第 9 回例会】

2011 年 2 月 23 日(水) 筑波大学 筑波キャンパス

・池谷和信(国立民族学博物館): 地球をフィールドワークするーブタの遊牧から考えるー。

【第 10 回例会】

2011 年 3 月 10 日(木) 首都大学東京 秋葉原キャンパス

・鈴木厚志(立正大): アメリカ合衆国における地図学・GIS 教育の変遷ー20 世紀後半のワシントン大学を例にー。

・小泉 諒(首都大学東京・院生): 分析単位地区としての地域メッシュ統計の有用性と可能性ー東京大都市圏における分析からー。

なお、第 8 回から第 10 回例会の要旨は、「地理空間」第 4 巻 1 号に掲載します。

学会賞受賞者コメント

地理空間学会 2009 年度(第 1 回)学会賞の奨励賞を受賞さ

れた清水克志先生から、受賞のコメントをいただきました。

地理空間学会・奨励賞 清水 克志 (<独> 農業・食品産業技術総合研究機構)

この度は、拙稿「日本におけるキャベツ生産地域の成立とその背景としてのキャベツ食習慣の定着」(地理学評論 81-1)および「近代日本における野菜種子流通の展開とその特質」(歴史地理学 51-5)に対し、地理空間学会賞・奨励賞を頂戴し、大変光栄に存じます。

近代日本における外来野菜の普及過程の解明は、日本文化論を専攻していた卒業論文以来の私の研究テーマです。地理学には、野菜産地形成という重厚な研究蓄積のあるテーマが存在しますが、前者の論文は、そういった先行研究を踏まえつつ、外来野菜の普及を消費的側面を含めた全体像として捉えることにより、ささやかでもオリジナリティーを出したいと考え、取り

組んだ結果です。また後者の論文は、現地調査を行う過程で巡り会うことのできた史料群を分析し、野菜生産の前提条件となる種子の流通実態の把握を試みた結果です。

一昨年、研究機関に職を得て、現代日本の農業・農村の課題に対して直接的・即応的な効果を発揮する研究に取り組んでいます。裸同然で入り込んだ未知の分野でしたが、地域を丹念に調査し、詳細に記述することを旨としてきた人文地理学、歴史地理学の視点や手法に対する要請が、予想以上に大きいことに大変驚いています。常日頃から絶えず、ご指導を賜っている先生方や諸先輩に、この場を借りて感謝申し上げますとともに、今回の受賞を励みに、一層精進して参りたいと存じます。

リレーコラム「わがまち速報」

#2 井口 梓(愛媛大)

松山市は、愛媛県の中央部に位置する人口 515,815 人(2011 年)の都市です。松山市の観光地といえば、日本三大古湯のひとつ道後温泉です。いわゆる「奥座敷」とは異なり、松山市の中心市街地からわずか 4 キロ圏内に温泉街が立地しています。道後温泉を象徴する道後温泉本館は、道後湯之町町長であった伊佐庭如矢氏が 1894 年に木造建て三層楼(1994 年国指定重要文化財)に改築し、現在の姿になりました。当時は、道後鉄道株式会社によって市街地(一番町)から道後温泉、さらには関西方面の航路とつながる三津口へと鉄道網が整備されました。この路線は、1900 年に伊予鉄道の一部として引き継がれ、松山城址を中心に環状に整備された市内電車は松山市民の生活の足となっています。松山市を訪れる多くの観光客は、この市内電車を利用して、城南の松山市街地中心部から松山城公園、さらに城北の道後温泉を回遊する観光行動をとっています(写真1)。

道後温泉には 33 軒(旅館組合加盟)の温泉旅館があり、年間



約 80 万人が宿泊しています。2000 年代から、道後温泉および松山市では、“小説「坊ちゃん」の町”から NHK 大河ドラマを背景とした“小説「坂の上の雲」の町”へと、その観光地イメージが急激に変化しました。観光業を取り巻く状況が著しく変化の中で、旅館経営者や商店街は、道後温泉本館を中心とした百年前の景観を取り戻し、次世代へと受け継ぐ「道後百年の景」を宣言し、景観整備事業に取り組んでいます(写真2)。道後温泉本館周辺のファサード事業、商業看板の目隠し、屋外広告の撤去など、観光事業者と地域住民が連携して景観整備を実施してきました。このような温泉観光地の変遷とまちづくりの現場は、観光地理学を学ぶ学生にとって、フィールドワークの初歩を学ぶ大切な場所でもあります。



写真1 市内観光電車(坊ちゃん列車)で移動する観光客
(2009 年 4 月 5 日撮影)



写真2 道後温泉本館を取り囲む高層の宿泊施設群
(2009 年 11 月 23 日撮影)

寄贈図書情報

清水克志さんより地理空間学会へ著書を寄贈いただきました。

- ①清水克志編著:『岩手キャベツ物語ー「南部甘藍から」岩手
春みどり」まで』キャベツの歴史と復興録出版実行委員会,
2010年12月刊, 359頁.

はしがき

- 1章 北の大地の風土とキャベツープロローグー
- 2章 岩手県におけるキャベツの導入ー明治期ー
- 3章 南部甘藍の産地形成・前編ー大正～昭和戦前期ー
- 4章 南部甘藍の産地形成・後編ー戦後復興期ー
- 5章 野菜主産地・岩手への道のりー野菜産地再建・発展期ー
- 6章 いわて春みどりの産地形成ーキャベツ産地復興期ー
- 7章 キャベツ産地の明日を見据えてーエピローグー

あとがき

古今書院より地理空間学会へ著書を2冊寄贈いただきました。

- ②田中達也著:『中近世移行期における東国村落の開発と社
会』古今書院, 2011年2月刊, 336頁, 8,200円(税別).

- 1章 序論
 - 2章 郷村の変容過程とその担い手
 - 3章 領域の再編と開発
 - 4章 結論
- 補論

- ③原田洋一郎著:『近世日本における鉱物資源開発の展開
ーその地域的背景』古今書院, 2011年2月刊, 308頁,
7,800円(税別).

- 1章 序論
- 2章 江戸中後期における日本の非鉄金属鉱山
- 3章 武蔵国秩父郡中津川村における小規模鉱山の開発
- 4章 江戸後期, 飛騨国北部地域における鉱山業の展開
- 5章 幕府直轄鉱山, 石見銀山の存続とその周辺地域
- 6章 結論

吉川弘文館より地理空間学会へ著書を寄贈いただきました。

- ④長谷川亮一著:『地図から消えた島々ー幻の日本領と南洋
探検家たち』吉川弘文館, 2011年5月刊, 270頁, 1,800
円(税別).

- ・まぼろしの島々への招待ープロローグ
- ・疑存島とは何か
- ・ヨーロッパ人と北太平洋
- ・「南進」の夢想と現実
- ・孤島をめぐる争い
- ・中ノ島島の謎
- ・疑存島の謎
- ・“山師”たちの夢のあとーエピローグ

学会からのお知らせ

<会計委員会からのお知らせ>

1. 会費納入のお願い

会員の皆様のご協力により、多くの方々から会費の納入をいた
だいておりますが、まだ若干名、過年度の会費納入がお済み
でない方もいらっしゃいます。過年度分未納の方は、「地理空
間」第4巻1号に同封する振込用紙でお早めにお支払下さい。
納付したか不明な方や振込用紙を希望の方は、学会事務局ま

でお問い合わせ下さい。また、大学を通じて電子振込みをされ
る場合には、必ず氏名とご所属先の明記をお願い致します。

[年会費の振込先]

(ア) ゆうちょ銀行への振込(ゆうちょ銀行の振込用紙を使用)

口座記号:00120-5 口座番号:779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900
 店番: 019 店名: 〇ー九店(セ)ロイチキュウテン)
 預金種目: 当座 口座番号: 0779957
 受取人名: チリクウカンカ"ツカイ

(ウ) 年会費

一般会員 4,000 円
 大学院生会費 3,000 円, 学生会費 2,000 円

2. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について、会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。
 [地理空間学会学術基金の内容]
 名称: 地理空間学会学術基金
 目的: 地理学の優れた研究者を育成することを目的として、その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

募集対象: 本学会の活動理念を理解し、本寄付の趣旨にご賛同いただける方。

ご依頼額: 1口2万円(何口でも可能です)

[振込方法]

(ア) ゆうちょ銀行への振込(ゆうちょ銀行の振込用紙を使用)

口座記号: 00150-3 口座番号: 707452

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900

店番: 019 店名: 〇ー九店(セ)ロイチキュウテン)

預金種目: 当座 口座番号: 0707452

受取人名: チリクウカンカ"ツカイカ"クシ"ユツキキン

※ 基金への寄付をしていただいた方のお名前は、機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は、「匿名希望」とご記入下さい。不明な点は、事務局までお問い合わせください。

<編集委員会からのお知らせ>

1. 第4巻1号発行のお知らせ

「地理空間」第4巻1号は、2011年6月20日(月)の発行を予定しております。会員の皆様へは、6月18日の大会時にお渡しするか、6月末までにお届け致します。

2. 超過ページ料金改正について

地理空間学会第3回総会において、超過ページの料金が改正されました。「地理空間」第4巻1号から適用されます。

[改正前] 刷り上がり	12 頁まで	: 無料
	13 頁以降	: 10,000 円/頁
[改正後] 刷り上がり	12 頁まで	: 無料
	13~16 頁	: 10,000 円/頁
	17 頁以降	: 5,000 円/頁

3. 次号以降の投稿について

第4巻2号は、2011年12月20日の発行を予定しております。第4巻2号の原稿については2011年8月末まで、それ以降の原

稿につきましても随時受け付けております。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

4. 定期購読のお願い

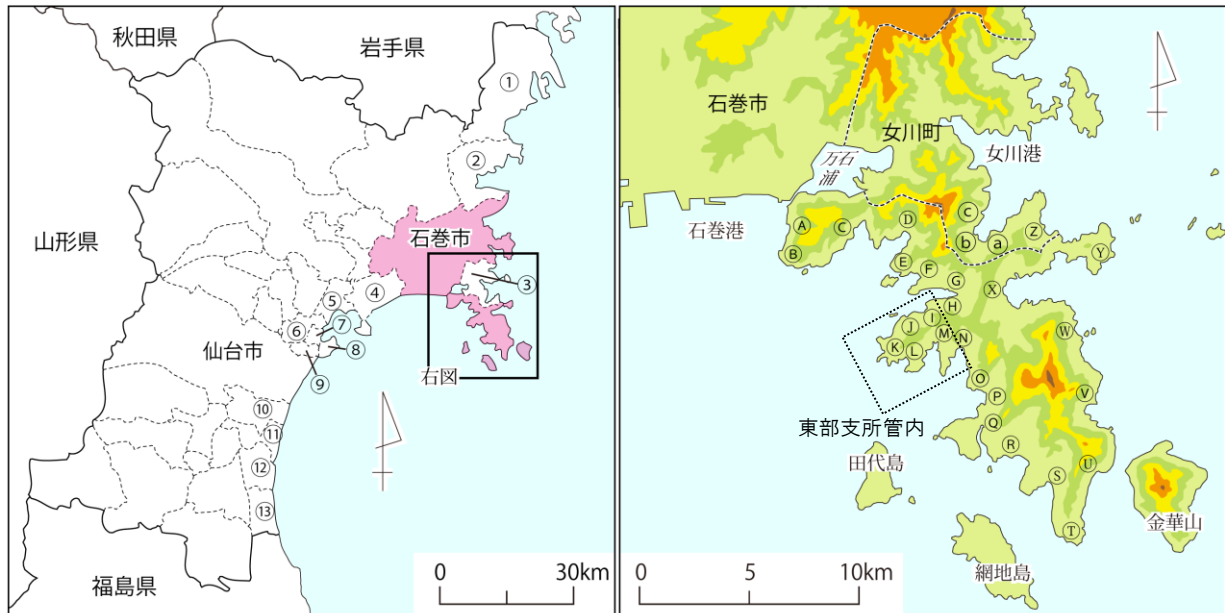
本学会の活動を知っていただくため、会員の皆さまの研究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購入いただける場合には、学会事務局までお知らせ下さい。

5. 「地理空間」掲載論文のリポジトリ等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学等の学術リポジトリや著者本人のホームページ等へ自著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までご連絡下さい。

コラム「わたしのフィールドから」

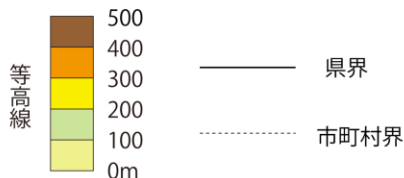
横山 貴史(筑波大・院生)



凡例

【海岸線に面した市町名】 ※石巻市と仙台市を除く

- ①気仙沼市 ②南三陸町 ③女川町 ④東松島市 ⑤松島町
⑥利府町 ⑦塩竈市 ⑧七ヶ浜町 ⑨多賀城市 ⑩名取市
⑪岩沼市 ⑫亘理町 ⑬山元町



【牡鹿半島の集落名】

石巻市

- A佐須浜 B小竹浜 C折浜 D桃浦 E月浦 F侍浜
G荻浜 H小積 I牧浜 J竹浜 K狐崎浜 L鹿立
M福貴浦 N小網倉 O清水田浜 P大原浜 Q給分浜
R十八成浜 S鮎川浜 T黒崎 U山島 V新山浜 W泊
X鮫浦 Y寄磯浜

女川町

- Z塚浜 a飯子浜 b野々浜 c横浦

図 牡鹿半島における漁業集落の分布

2011年3月11日、私は牡鹿半島の牧浜(図中①)という集落でフィールドワーク中に激しい揺れを体験しました。即座に高台の小学校に避難し難を逃れましたが、2日後、徒歩で石巻市街へ向かう途中、海沿いの集落では家屋やカキ処理場などの漁業関連施設が倒壊し、道路は運ばれた瓦礫や漁船などにより分断され、津波によって、馴染みのあるフィールドの風景が一変したことを目の当たりにしました(写真1)。私がフィールドとしている牡鹿半島の宮城県漁協石巻東部支所の漁業地区(図中①, ②, ③, ④, ⑤)は、宮城県内随一のカキ養殖産地でありましたが、津波によって生活基盤のみならず漁船や養殖施設

といった漁業生産の基盤までもが失われました(写真2)。

震災から約1ヶ月後に再びフィールドを訪れると、道路の瓦礫は両端に寄せられ、車の通行が可能となっていました。カキ養殖業の復興の目は立っていませんでした。私がお世話になっているカキ養殖業を営む漁業者は、漁村の復興には①漁業関連設備の復旧(漁船、養殖資材・施設、共同カキ処理場などの加工施設、地盤沈下した漁港の改修)、②漁場の復旧(海中に流出した瓦礫の撤去)、③生活基盤の復旧(ライフライン、居住環境)が早急に必要であると話しておられました。

カキ養殖業は、次の生産が行えるようになるまで少なくとも2

～3 年はかかる想定されます。そのため、特に若年層の漁業者が他就業機会を求めて流出してしまわないかが懸念されます。また、生活と生産の場を同じとする漁村では、居住環境の復旧に際して、職住分離につながるものがない細やかな施策が求められます。生産が軌道に乗るまでの漁村での生活を保障する公的支援が施されることを願わずにはいられません。

〔表紙写真〕 高台にある女川町立病院の駐車場から撮影
宮城県以北の三陸海岸沿岸は、リアス式海岸の地形により、

石巻港や気仙沼港に代表される日本有数の大漁港に恵まれ、海岸部の集落では波静かな漁場を利用した各種の養殖業が営まれていました。3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う津波は、リアス式海岸特有の出入りの深い入り江を駆け上り、沿岸集落を次々と飲み込みました。女川港では、4 階建ての建物が押し波によって倒され、漁港周辺の施設や家屋は壊滅的な被害を受けました。リアス式海岸という水産業に適した地形が、皮肉にも津波の威力を強めたということを思い知らされます。



写真 1 牡鹿半島海沿い集落の津波被害状況(桃浦, 図中㊸)
(2011 年 3 月 13 日撮影)



写真 2 津波により破壊された共同カキ処理場(牧浜, 図中㊹)
(2011 年 5 月 5 日撮影)

ニューズレター編集係より

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。地理空間学会ニューズレター第 10 号をお届けします。